

# 日本遺産シンポジウム

～万葉の時代から紡がれる和歌の浦の物語～



日本遺産  
絶景の宝庫  
和歌の浦



JAPAN HERITAGE



令和元年 **12月8日(日)**

13:30～16:00(開場12:30)

会場 / ダイワロイネットホテル和歌山  
4Fプレジール (和歌山市七番丁26-1)

先着**300名**  
(事前申込制)

**入場無料**

申込締切  
令和元年11月27日(水)

## 基調講演

テーマ: **万葉の物語を旅する**

講演者: **里中満智子**  
(マンガ家)



## 地域芸能

和歌祭 **御船歌**

出演: **唐船御船歌連中**

## パネルディスカッション

テーマ: **いま伝えたい和歌の浦の魅力**

コーディネーター **里中満智子**

## パネリスト

**はな** (モデル・タレント)  
**村瀬 憲夫** (近畿大学名誉教授  
紀伊万葉ネットワーク会長)  
**坂口 宗徳** (和歌の浦観光協会会長)  
**吉村 旭輝** (和歌山大学  
紀州経済史文化史研究所特任准教授)



はな



村瀬 憲夫



坂口 宗徳



吉村 旭輝

申込先 株式会社和歌山放送内「日本遺産シンポジウム事務局」 TEL:073-428-1431  
FAXまたはEメールにてお申し込みください。  
FAX:073-428-0960 Eメール:nihonisan@wbs.co.jp

問合せ先 和歌の浦日本遺産活用推進協議会事務局(和歌山県観光振興課内) TEL:073-441-2424  
主催 和歌の浦日本遺産活用推進協議会



文化庁  
地域文化財総合  
活用推進事業

# 日本遺産シンポジウム

～万葉の時代から紡がれる和歌の浦の物語～

令和元年

12月8日(日)

13:30～16:00

(開場12:30)

会場／ダイワロイネットホテル和歌山4Fプレジール (和歌山市七番丁26-1)

## 出演者プロフィール



### 里中満智子 (マンガ家)

高校在学時に講談社新人漫画賞を受賞。50余年に渡り500タイトル以上の作品を描き、子供ものから大人ものまで幅広い作品を発表。代表作に「天上の虹」「古事記」「アリエスの乙女たち」など多数。万葉集に造詣が深く、歴史を扱った作品も多い。大阪芸術大学キャラクター造形学科学科長、(公社)日本漫画家協会理事長、文化庁日本遺産審査委員会委員等を務める。



### 村瀬 憲夫

(近畿大学名誉教授・紀伊万葉ネットワーク会長)

名古屋大学を卒業後、和歌山大学、近畿大学で、教育と研究に携わる。専攻は万葉集。万葉集の編纂のあり方を研究するとともに、和歌山で詠まれた万葉歌(紀伊万葉)を研究し、現在、紀伊万葉ウォーク等を通しての地域起こし、次世代への継承をめざして模索中。



### 坂口 宗徳

(和歌の浦観光協会会長)

立教大学卒業後、(株)MYCALにて和歌山ビブレに勤務。退職後、シーサイド観潮に入社。和歌の浦の旅館が次々と廃業する中、和歌の浦温泉 萬波を事業継承。徹底した数値管理と流行を捉えた販売促進で2つの旅館を再生させる。観光地としての和歌の浦を盛り上げるため、地域の仲間とともに活動中。



### はな (モデル・タレント)

17才からモデル活動を始め、司会、ナレーション、ラジオパーソナリティ、エッセイの執筆など幅広く活躍中。英語、フランス語に堪能。上智大学比較文化学科卒業。趣味は茶道、お菓子作り、仏像鑑賞。最新刊「はな、茶の湯に出会う」ほか著書も多数。2017年9月国宝応援大使、2019年4月奈良国立博物館評議員に就任。



### 吉村 旭輝

(和歌山大学・紀州経済史文化史研究所特任准教授)

和歌祭の継承を担う研究者。2010年の和歌祭御船歌の復興に参画するとともに、自身も唐船御船歌連中副代表として活躍中。中世芸能の経済的基盤となる寺社と芸能者の近世での交渉史を研究するとともに、全国各地で行われている祭礼での民俗芸能の研究にも着手している。



### 唐船御船歌連中

紀州東照宮の例大祭である和歌祭の中で演目、和歌祭御船歌を披露するのが「唐船御船歌連中」。戦後、和歌祭が商工祭に変化したことなどから、1980年に唐船だけを残して御船手方ゆかり歌い手たちの参加が途絶え、御船歌も途絶えてしまっていた。30年後の2010年、かつての音源の発見、30年前までの伝承者との出会いなどさまざまな偶然が重なり、御船歌は30年ぶりとなる復興を遂げた。

#### 申込方法

下記参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX又はEメールにてお申し込みください。

お申し込みいただいた皆様には、参加の可否を郵送等でご連絡いたします。

#### 申込締切

令和元年11月27日(水) ※定員に達し次第、締め切らせていただきます。

#### 申込先

株式会社和歌山放送内「日本遺産シンポジウム事務局」 TEL:073-428-1431

#### 問合せ先

和歌の浦日本遺産活用推進協議会事務局(和歌山県観光振興課内) TEL:073-441-2424

## 日本遺産シンポジウム ～万葉の時代から紡がれる和歌の浦の物語～

株式会社和歌山放送内

「日本遺産シンポジウム事務局」行き

FAX:073-428-0960

Eメール:nihonisan@wbs.co.jp

ふりがな		住所	〒
申込者氏名			
電話番号		FAX番号	
ふりがな			
申込者氏名			

※ご記入いただいた個人情報は、当シンポジウムの案内、連絡以外の用途には使用いたしません。